

「幼児期に育てたい力」の具体例 初生幼稚園 バージョン（3学期）

1 健康な心と体



異年齢で集会をする場をもつことで、寒い日でも楽しく体を動かすことができます。



ルールやきまりのある集団遊びを通して、体を動かす心地良さを十分に味わいます。



自分たちで生活の場をきれいにしたり整えたりしようとする気持ちが育っていきます。



全身だけでなく、手や指を使う遊びを楽しむことで複雑な動きができるようになります。



I 自分のことを自分でやる力

幼児期に育てたい力

2 自立心

友達や先生の姿に刺激を受け、自らさらに難しいことに挑戦したいという気持ちが高まります。



6 言葉による伝え合い

人の話を聞く体験を積み重ねることで、相手の伝えようとしている内容に注意して聞くようになっていきます。

3 協同性

徐々に子ども同士だけでやりとりをしながら遊びを進めていくようになります。



4 道徳性・規範意識の芽生え

様々な直接体験を通して、社会のルールを知り、守ることの大切さを学んでいきます。



5 社会生活との関わり

地域の人たちとの触れ合いや体験を通して、地域に親しみをもつようになります。



7 思考力の芽生え



様々な性質の素材やものに出会い、好奇心や探求心が育っていきます。



友達と教え合うことを通して、自分たちで考え解決しようとするようになります。

III 身近なものや出来事と関わる力

8 自然との関わり・生命尊重



園庭の梅や花壇の花が段々咲いていく様子を見ることで、季節によって自然が変化することに気付いていきます。

9 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚



かるた遊びやすごろく遊びなどを通して、文字への興味や関心が育まれていきます。

10 豊かな感性と表現



日本の伝統行事であるひな祭りも、自分たちの遊びに取り入れ、楽しんでいます。